

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育ケアMARINE RAINBOW 諏訪野町		
○保護者評価実施期間	令和7年9月25日		～ 令和7年10月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和7年9月25日		～ 令和7年10月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士や保育士の専門職がいるところ。	5領域を意識した活動を取り入れている。	専門職の視点を生かした、より専門性の高い療育を行っている。
2	特別支援学校に通う児童様が多く通所されているので、お一人おひとりの特性に合わせて、ルーティンを大切にしながら、活動にメリハリをつけ安心して過ごせる環境を整えている。	個別学習の支援を丁寧に行っている。 児童様に合わせた療育教材を作り、支援している。 何か一つは取り組んで帰宅されるように意識している。	学校やご家庭と情報共有して、統一された教材を使ったり個々にあった支援を行っている。
3	部屋(指導訓練室)を分けて小集団活動を取り組みやすくしている。	部屋(指導訓練室)を分けて特性に合わせた支援内容を行っている。	環境の構造化、支援内容の明確化、自発的な行動を促すような支援の提供を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様もご参加頂ける研修会や講習会の実施。	そもそもあまり実施が出来ていないこと。	専門職も在籍しているので、職員による研修会等も今後実施出来たら事業所での取り組みや職員の考えや思いもお伝えしていけると思う。その中で助言等も一緒に行わせて頂けると思う。
2	非常時等の対応についての周知。	児童様は日替わりで通所されているので全員での実施が難しい。	今後は活動を通して、訓練等も実施していくため、その都度、保護者様にお伝えして、周知出来るようにしていく。
3	地域の方々との交流が少ない。	外出の機会が少ない。	外出支援等を通して地域の色々なイベントや活動に参加していく。